

# ロシアの侵略・虐殺を許すな！ 強まる日本の軍事国家への動きにストップ！

条改悪・敵基地攻撃能力の保有、核兵器共有を叫び、自衛隊による報道、反戦デモの敵視など国民の反戦・

人権と平和の世紀となるべき現在、目の前でロシアの蛮行が進められていく。そんなロシアに経済支援している日本。侵略に便乗して9

平和の世論にむき出しの敵意を見せている。署名、ピラ、スタンディング、基金と可能な手段で運動しよう。参院選で自公政権と維新に審判を下そう。

めぐる署名は請願行動日が決まりました。残された期日、署名活動に奮闘ください。県本部へ4月26日までに届けてください。



香川県版 No. 286

2022. 4. 15

治安維持法国陪同盟

香川県本部

高松市塩江町安原下

1-649-22

087-897-0004

国会請願

5月11日に

犠牲者の名誉回復と補償を求め

**上映開始**

**わが青春つきるとも**  
伊藤千代子の生涯

高松市まなびCAN

3階ホール

5月15日(日)

午後1時30分～

協力券1000円

上記以外も予定を立てます

この本を勧めます！



大学非常勤講師

岡本朝也

忘れそうになっているのは戦争のことだけではない。戦争の前に起きていたこと、そして戦後に起きたことについての記憶も、危うくなりつつある。

戦後の平和と繁栄だけが見えていた時代の背後で起きていたこと、それを引き起こすために政府の中へと呼び戻され、さらに仲間たちを呼び戻していた特高官僚たち、そもそも追放さえされなかつた者たち……。本書に収録された特高官僚の経歴をたどることで見えてくるのは、戦前から戦後へと続く人々の抵抗の軌跡、そして「反動」という言葉の陰で見落として、教科書の片隅の文字としてしか意識してこなかった戦後のたまたかいの歴史だ。日本の近代史と現代史の背後でうごめく強大な敵の存在を改めて意識し、その尻尾をつかむための基礎資料がここにある。

息を吞もう、唾然としよう、そして憤ろう。日本を、そして我々の住むこの世界を、少しでもましな場所にするために。



ご注文は県本部まで